

余丁校通信



1月の目標

手洗いうがいをしっかり
しましょう。

新年あけましておめでとうございます

校長 小林政雄

第3学期の始まりです。冬休み中に平成30年を迎えました。あけましておめでとうございます。今年の干支は「戊戌（つちのえ いぬ）」です。

十二支の「戌（いぬ）年」は馴染みがありますが、十干の「戌（つちのえ）」というのは、普段はあまり付けないかもしれません。しかし「干支」というのは、字の通り、十干と十二支を組み合わせで表したもののことです。

十干というのは「甲（こう）・乙（おつ）・丙（へい）・丁（てい）・戊（ぼ）・己（き）・庚（こう）・辛（しん）・壬（じん）・癸（き）」に、それぞれ「きのえ（と）」「ひのえ（と）」「つちのえ（と）」「かのえ（と）」「みずのえ（と）」を順にあてはめて並べています。十二支はお馴染みの通り、「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥」です。ちなみにもともとの十二支と動物は関係がなく、覚えやすくするために身近な動物を当てはめたようです。これらの十干と十二支を順番に組み合わせたのが干支ということになります。10のものと12のものの組合せは120通りですが、「順番に」なので、最小公倍数の60で一巡します。生まれてから60年で一巡して、その時の干支になるので、「還暦」ということになります。お正月から算数になってしまいました。「戊戌」は「甲子」から35番目の組合せになります。

先人たちは、これらを生活の中でうまく活用して、暦を作ったり、方角を表したり、時刻を表したりしていました。そう思うと、改めて知恵の深さを感じます。お正月には何となく昔を思い、歴史を感じるよさがあります。伝統的な行事を大切にしつつ、未来に向かう力を育む年にしたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



書き初め展

国語部

新しい年の始まりの伝統的な行事として、「書き初め」を本校でも行います。1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で書きます。

年の初めに気持ちも新たに、クラスや学年で一斉に文字を書く児童の姿は、毎年とても真剣です。書き初めをすることで、自分の文字について振り返ったり、文字や言葉について興味をもったり、日本の伝統文化について関心をもったりしてほしいと考えています。

今年も下記のように、書き初め展を行います。児童の真剣な気持ちが詰まった作品を体育館に一斉に展示します。ぜひご覧になって下さい。

日時 1月19日（金） 8：40～16：00

20日（土） 8：40～12：00

場所 本校体育館

【子どもの声 4年生】～福祉教育を通して～

車いす体験をやってみて、止まるところや段差によって押したり引いたりするところがあり、車いすを押す人も大変だし乗っている人も大変なんだと思いました。

4-1 男児

もし耳が聞こえない人と出会ったら、手話ができないことを理由に無視するのではなく、笑顔でコミュニケーションをとってその人を笑顔にしたいです。耳が聞こえない人と分かち合える社会にしたいです。

4-1 男児

障害がある人を助けることは難しいと思いますが、自分にできることを考えて弱い立場の人の力になりたいです。障害がある人もない人もみんな仲良く生きていける世界になるといいです。

4-2 男児

講師の「耳が聞こえなくても、がんばれば何でもできる」という言葉が心に残りました。自信がないことでも、できると思ってチャレンジしたいです。

4-2 女児

音楽科より

音楽担当

2月の音楽発表会に向け、子どもたちは練習に励んでいます。冬休み中、器楽の練習を保護者の方に見ていただいた学年もありました。お忙しい中ご協力くださり、ありがとうございました。

さて、毎回授業で感心することがあります。それは子どもたちの歌い方。練習でも本番さながらの表情や体の動きで表現している子が大勢いることです。「伝わる歌い方」と私は表現していますが、その伝わる歌い方を小さい子たちだけでなく、高学年の大きい子たちも堂々とやってのけるのです。自信をもって歌うには、自分の殻を破って表現する必要があります。本人の頑張りはもちろん、その頑張りを受け入れる環境が整っていなければ殻を破って表現することはできません。余丁の子どもたちは、互いのよさを認め、高め合うことができる心の豊かな子たちであると改めて実感する場面です。2月の発表でも子どもたちのよさを引き出せるようにサポートしてまいります。

集団感染を防ぎましょう

養護教諭

昨年12月の余丁町小では、インフルエンザA・B型、溶連菌感染症、感染性胃腸炎などの感染症が発生しました。いずれも出席停止となる感染症です。学校は子どもたちが集団で生活する場所ですので、一度感染力の強い病気が発生すると「集団感染」といういやな言葉が頭の中を過ぎります。どんな感染症の場合も学校でできることは、手洗いをしっかりさせる、換気する、マスクをさせる、給食時グループで食べないなどといったごく基本的なことばかりです。子どもたちは常にくっつき合って勉強したり遊んだりしています。接触感染を防ぐことは大変難しいことです。そうすると子ども自身の免疫力を高めることや感染の初期に早めに対応して拡がりを防ぐことがとても大切になってきます。早寝早起き、バランスのとれた食事や、「かかったかな」と思ったら早めに休ませ様子を見るなどのご協力が不可欠です。よろしくお願いします。

わかまつ学級 ～在籍児童の声～

わかまつ学級は、入院中の小学生にとってとても助けになっています。

まず勉強が遅れる心配がなくなることがうれしいです。理科の実験は学校から道具を借りて、みんなと同じように行っています。病院で理科の実験ができるとは思っていませんでした。また、辛いことを忘れて授業などを行うことができます。休み時間も、用意してある材料で自由にいろいろ作れるところもよいところです。入院中の僕にとって毎日が楽しみでした。わかまつに行く学校の出席日数にカウントされて、「あんなに学校を休んだのに欠席日数が少ない！」と思えるからうれしいです。僕が毎日「宿題多めをお願いします。」と言うと先生がびっくりしていました。急いで追加の宿題を用意してくれました。僕にとって、わかまつ学級は、楽しく過ごせる場所です。教室に来られなかった子のためのベッドサイド授業は、病棟に先生が来て、勉強などをできるからいいと僕は思いました。

(4年 男児)



1月 行事予定

7	日	冬季休業日終
8	月	成人の日
9	火	始業式
10	水	給食始
11	木	新宿区学力定着調査(2～6) 発育測定(5・6) ノーチャイムデー
12	金	席書会 発育測定(3・4)
15	月	発育測定(1・2)
16	火	社会科見学(5) 安全指導 委員会活動
17	水	4時間授業 避難訓練 ふれあいタイム(3・5)
18	木	運動朝会
19	金	書き初め展①
20	土	学校公開 道徳授業地区公開講座 書き初め展②
23	火	もちつき(5)クラブ活動
24	水	ふれあい(2・4) 校内研究授業日 2-1、4-1、5-2以外4時間授業
25	木	音楽朝会 二分の一成人式(4-2)
26	金	二分の一成人式(4-1) 水曜時程
30	火	クラブ活動
31	水	ふれあい(1・6) 校内研究授業日 1-1以外4時間授業